

珊瑚の海に点在する楽園 奄美群島周遊の旅

奄美大島 徳之島 沖永良部島 与論島

島めぐり

ツアーコード/JB8076S

7日間

出発日 **5月13日(月)**

旅行代金(大人おひとり様)

2名様1室 **279,800円**
1名様1室 **285,800円**

※4日目の沖永良部の宿泊は1名1室となる場合がございます。

- 添乗員同行(全行程) ■食事/6朝食(1弁当)・5昼食・5夕食付
- 最少催行人員/10名様
- 利用バス会社:(株)しまバス・徳之島総合陸運・沖永良部バス企業団・南陸運・美ら島観光バス・えらぶ観光タクシー

ご宿泊ホテル

- 1・2日目/奄美大島・奄美市内:ウエストコート奄美I 洋室利用(バス・トイレ付)
- 3日目/徳之島・徳之島町:ホテル・レクストン徳之島 洋室利用(バス・トイレ付)
- 4日目/沖永良部島・知名町:国民宿舍おきえらぶフローラルホテル 洋室利用(バス・トイレ付)または和室利用(バスなし・トイレ付)
- 5日目/与論島:プリシアリゾートヨロン 洋室利用(バス・トイレ付)
- 6日目/沖縄本島・那覇市内:ホテルサン沖縄 洋室利用(バス・トイレ付)

奄美大島(あまみおおしま)

「東洋のガラパゴス」

鹿児島県の離島で一番大きな島。エメラルドグリーンのサンゴ礁の海が輝き、亜熱帯植物の原始の森が広がります。



カヌー体験



1・2日目:ウエストコート奄美I

4日目:おきえらぶフローラルホテル(外観)



5日目:プリシアリゾートヨロン

6日目:ホテルサン沖縄

おいしい旅



鶏飯(2日目・昼食)

島民が薩摩藩の役人をもてなすために作られた奄美の郷土料理。鶏肉、錦糸玉子、しいたけなどの具を熱いご飯の上のりせ、地鶏スープをたっぷりかけていただきます。

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

【凡例】
— 旅行ルート
■ 宿泊地
● 使用空港・港



日程	行程	食事
1	新千歳空港7:30~10:00発----->-----(羽田空港・鹿児島空港乗り継ぎ)----->-----奄美空港=●奄美パーク【●田中一村記念美術館●奄美の郷(120分)】==奄美市内18:00頃【泊】	× × 夕
2	奄美市内8:30頃=●大島紬村(60分)==●マングローブパークカヌー体験(120分)==奄美市内16:30頃【泊】	朝 昼 ×
3	奄美市内5:00頃=名瀬港~フェリー2等~徳之島・亀徳港=徳之島観光【●伊仙町歴史民俗資料館(40分)、○犬田布岬(戦艦大和慰霊碑)(30分)、○犬の門蓋(20分)、○ムシロ瀬(20分)、○金見崎ソテツトンネル(30分)、○第46代横綱朝潮太郎記念像(車窓)】=徳之島町16:00頃【泊】※朝食は、船内にて和弁当となります	朝 (船内) 昼 夕
4	徳之島町9:40頃=亀徳港~フェリー2等~沖永良部島・和泊港======沖永良部観光【●西郷南州記念館(30分)、●歴史民俗資料館(30分)、○日本一のガジュマル(20分)、○笠石海滨公園エラブユリ観賞(30分)、○ジッキョヌホー名水100選(20分)】=====知名町17:30頃【泊】	朝 昼 夕
5	知名町8:30頃====●昇竜洞(40分)====和泊港~フェリー2等~与論島・与論港====与論島内観光【●サザンクロスセンター与論島資料展示(30分)】====与論島15:30頃【泊】※昼食は、船内にて和会膳となります	朝 (船内) 昼 夕
6	与論島9:00頃====○大金久海岸●グラスボート遊覧(50分)○与論城跡(30分)====与論港~フェリー2等(120分)~沖繩本部港====那覇市内19:00頃【泊】	朝 昼 夕
7	那覇市内8:30頃====南城市【●ガンガラーの谷(専門ガイドと歩く森の散策80分)】====那覇空港----->-----(羽田空港乗り継ぎまたは直行便)----->-----新千歳空港16:00~20:30着	朝 × ×

※各島での観光の際は、マイクロバスやタクシーに分乗してご案内する場合があります。沖縄ではバスガイドは乗務しません。
※往路の航空路線は、羽田空港から奄美空港への直行便を利用する場合があります。
※徳之島・沖永良部島・与論島・沖縄本島間は、マルエーフェリー又はマリックスラインのいずれかとなります。
※6日目のグラス・ボートは、湖の満ち引きの関係で5日目に変更する場合がございます。

徳之島(とくのしま)

「長寿と闘牛の島」

基幹農産物はサトウキビ栽培で、単一の島としては生産量日本一を誇る。約500年の歴史があるといわれる闘牛大会は、島民がもっとも熱中するイベントのひとつ。



金見崎ソテツトンネル



大田布岬

沖永良部島(おきのえらぶじま)



「日本一のガジュマル」

国頭小学校の校舎の傍らに子供たちを見守るように佇む大きく枝葉を広げたガジュマル。第1回卒業生によって植えられた、新日本名木百選の一つ。和泊町指定天然記念物。

与論島(よろんじま)

「東洋に浮かぶ一個の真珠」

澄みきったエメラルドグリーンの海に、サンゴ礁に囲まれた周囲22kmの小島がぼっかりと浮かぶ。鹿児島県最南端の島で、ダイビングが盛んなマリリゾート。



与論島(全景)